

北海道遠軽高等学校 野球部

Since 1948

ENGARU



野球部公式 SNS アカウント

(最新情報を随時更新中)



◎目標「甲子園出場」・「3季連続道大会出場」

◎部訓「一体感」・「社会で活躍する人間力」

近年の主な戦績

15 年連続道大会出場(2008～2021)

9 年連続北北海道大会出場(2009～2017)

7 季連続道大会出場(2016 春～2018 春)

2024年	春	全道大会	ベスト 4
2023年	春	全道大会	ベスト 1 6
	夏	北北海道大会	ベスト 1 6
2021年	春	全道大会	ベスト 1 6
	秋	全道大会	出場
2020年	秋	全道大会	出場
2019年	春	全道大会	ベスト 1 6
2018年	春	全道大会	ベスト 1 6
2017年	春	全道大会	ベスト 1 6
	夏	北北海道大会	ベスト 1 6
	秋	全道大会	出場
2016年	秋	全道大会	ベスト 4
2014年	夏	北北海道大会	ベスト 8
2013年		第 85 回選抜甲子園大会	出場 (ベスト 16)
2012年	夏	北北海道大会	準優勝 (2 年連続)
	秋	全道大会	ベスト 4
2011年	夏	北北海道大会	準優勝
2010年	夏	北北海道大会	ベスト 4

※2010年以前

春季全道準優勝 1 回 北北海道大会準優勝 2 回

過去にはプロ野球選手も輩出し、現在でも全国強豪大学や社会人野球の一線で活躍している OB が多数います。

練習について

【平日】15:45～18:50(19:00 完全下校)

※月曜は進学講習日になっており、進学希望者は講習に参加、それ以外は通院や休養等、各々が自分に必要な活動をしています。

【土・日・祝日】練習試合・終日練習

遠征には野球部の専用バスを利用します。

主に本校グラウンド、室内練習場、ビニルハウスを使用して練習しています。また、夏休みには遠軽町の合宿誘致事業を通して横浜隼人高校や中部商業高校など道内外の強豪校と練習試合を行っています。東京大学の野球部も合宿をしており野球だけでなく学習面での指導(遠軽東大塾)も受けられます。



<室内練習場>
20m x 30m の人工芝。6 カ所マシン打撃が可能な他、ウェイトトレーニング器具も常設。

☆各種メディアでも遠軽高校野球部が紹介されています☆

【ドキュメンタリー】

竹森マサユキ (かーボトル) with 遠軽高校野球部 2023.6.27「情熱のうた」
(遠軽高校野球部応援プロジェクト外動画)



【拡がれ!!My Hero の輪】

ビーグルクルー with 遠軽高校野球部
～あなたのチームにお邪魔します～
(遠軽高校野球部応援企画動画)



納入金について

【入学時購入】100,000 円程度 (試合着、部ジャージ、カバン等のチーム統一品)

【父 母 会 費】22,000 円/年

【日帰り遠征代】バス代として 1,500 円～2,500 円程度をその都度徴収します。

【合 宿 費】1 回につき 15,000 円～30,000 円 合宿は年に 2～3 回実施しています。

※オフシーズンにアルバイトを行い、3 月末には道外合宿(神奈川・沖縄等)を実施しています。



ブランディング ENGARU BRANDING BASEBALL ～先進性・斬新性・独創性・独自性～

チームは3年生33名、2年生18名、1年生24名、マネージャー3名、顧問5名、外部コーチ7名の計90名で活動しています。周囲の期待に応え、自らのやるべきことを実現できる**プロの高校野球選手**になることを目指しています。そのためにチームでは**自立と自律**を重んじ、選手・マネージャーが自ら考え、行動する力を養っています。「遠軽だけ」「遠軽ならでは」「遠軽といえば」という**“ブランディング”**に特化し、常識にとらわれない野球スタイルや選手育成を目指しています。

近年も野球部から国公立大学合格者多数(北見工大、室蘭工大、北海道教育大、釧路公立大、名寄市立大)

遠軽高校野球部は部員の進路(出口)に最も力を入れて取り組んでいます!!

本校は各学年に国公立大学の合格を目指す「**特進クラス**」を設置しています。野球部も毎年数名が特進クラスに在籍し、多くの生徒が国公立大学へ進学しています。また、**勉強が苦手な生徒のサポート**を中心とするクラスや**部活動を活かして進学や就職を目指すクラス**など、単位制の特色を活かし、**幅広い学力層や進路希望に対応できる指導体制が遠軽高校にはあります。**

野球部は**ベンチ入りの有無や競技実績に関わらず**、私立の強豪校と変わらない進路実績を出しています。

【野球での主な進学実績(すべて特待生、スポーツ推薦での進学)】

- 東北福祉大学(全国大会優勝3回、OBに金本知憲氏、斎藤隆氏などプロ野球選手多数)
- 横浜商科大学(全国大会複数回出場、OBに阪神岩貞投手など)
- 仙台大学(全国大会複数回出場、OBに阪神馬場投手など)
- 東京農大オホーツク(全国大会ベスト4進出2回、OBにソフトバンク周東選手などプロ野球選手多数)
- 星槎道都大学(全国大会準優勝1回、OBに日本ハム福田投手など)
- 東海大学札幌キャンパス(全国大会ベスト4進出1回、OBに日本ハム今川選手など)
- …その他、道内外多くの大学に特待生やスポーツ推薦で進学をしています。

【社会人野球への主な実績】東芝 新日鉄室蘭シャークス、ウイン北広島、北海道ガス、六花亭など

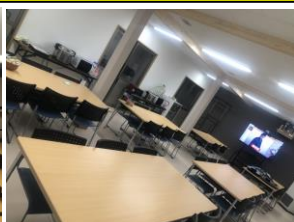
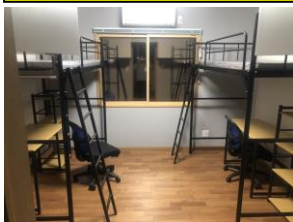
野球部寮について 私立の特待よりも安価な費用で3年間生活できます

遠方からの入学者は、寮生活を送っています。遠方から本校への進学を決めて頂いた際は、寮に関わる詳しい説明をさせていただきますので監督阿波までご連絡ください。

遠軽町から寮費(上限月額3万円)の補助があります

遠軽町は遠方からの入学者に月額の2分の1以内の額で、上限**月額3万円**(千円未満切り捨て)の寮費を補助しています(※寮費補助制度に関する詳細は、遠軽町ホームページをご覧ください)。寮費は月額7万円なので、**4万円程度の費用**で毎月生活することができます。**※補助費は半年に1度まとめて支給されます**

令和3年度オープン 野球部スタッフが管理する新築の**野球部寮**(フォルシティア)
令和5年度オープン 室内練習場に隣接された野球部監督が管理する新築の**野球部寮**(縁修寮)



いずれの寮も
・平日**3食付き**
・全室**エアコン**完備
・全室**Wi-Fi**使い放題
・学校まで**徒歩30秒**



道内の多くの私立高校へ**授業料免除の特待なし**で進学する場合、月額の授業料や諸費だけでおよそ4万円(就学支援金制度受給資格世帯を除く)程度の費用がかかり、**下宿や寮生活の場合は更にこれにプラスして月5万円～7万円程度の生活費がかかります。**仮に自宅から通学するとしても3年間で必要な授業料を含む生活費は下宿費の補助を受けながら**遠軽高校へ進学の方が安価**になる場合が多いです。野球部も現在この制度を利用して**全道各地のシニア・ボーイズ・軟式クラブチームや選抜チーム等から約50名の選手が寮生として生活**しています

何か不明な点がありましたら監督阿波までお気軽にご相談ください。

(野球部監督 阿波 克典 090-7512-3014)

【公立の遠軽で北海道の頂点にそして甲子園へ】